

YAHOO! JAPAN  
 お知らせ ▶ ページディレクトリ ▶ 困ったときは? ▶ ヘルプ  
 『シミ』、あきらめないで。 www.dermed.jp/try/  
 シミ・くすみのお悩みに「三省製薬の美白力」まずはおためし1575円  
 インタレストマッチ - 広告の掲載について



[デイケアハウスとは?](#) [このゆび\(富岡\)の紹介](#) [このゆび茶屋の紹介](#) [18年の歩み](#) [このゆびのはじまり](#) [ボランティア募集](#)

### デイケアハウス(デイサービス)とは?

デイ(day)は昼間、ケア(care)は世話、ハウス(house)は家。すなわち、日中に身の回りの世話をしてくれる施設のことをいいます。最近ではデイサービスという言葉の方が一般的です。  
 施設と聞くと、お年寄りばかりがいる老人ホームのような場所を思いうかべる方もいると思いますが、「このゆびと一まれ」は子供もお年よりも、中年の人も障害者の人も、「誰でも必要なときに必要なだけ利用」でき、施設らしさは全く感じられないところです。見学者から、「このゆびと一まれはなごやかな空気に包まれていて、まるで昔の大家族のよう」とよく言われます。  
 なお、2004年5月10日富山市茶屋町において、従来のデイサービスに加え、障害者も受け入れ可能なショートステイ(短期入所施設)、および痴呆対応型グループホーム、の3つの機能を併せ持った「このゆびと一まれ茶屋」が、2005年4月1日には従来のこのゆびと一まれの向いにデイサービス「このゆびと一まれ向い」がオープンしました。  
 「このゆびと一まれ」(クリックで配置図!)はこの家庭的な雰囲気に魅了されてしまったボランティアとスタッフで支えられています。



このゆびのスタッフ&ボランティアです。

### このゆびと一まれ&このゆびと一まれ向いの紹介

住所: 〒930-0928 富山市富岡町355 (「向い」は富岡町365)  
 (JR富山駅より車で15分 富山空港より車で30分) 周辺地図

<p><b>デイサービス</b>  <b>このゆびと一まれ</b>          TEL&amp;FAX: (076) 493-0765</p> <p>デイケアハウス          「このゆびと一まれ」</p>	<p><b>デイサービス</b>  <b>このゆびと一まれ向い</b>          TEL: (076) 493-0030</p>
---	--

# このゆびメイン

利用者：1日平均約30人で、内訳は健常児・障害児・障害者・お年よりなどさまざまです。

## 活動内容：

- 1 高齢者在宅支援サービス(通所介護、いきがい対応型デイサービス、など)
- 2 障害者(児)在宅支援サービス(通所介護、在宅障害(児)デイケア事業、など)
- 3 居宅介護支援事業(ケアプランの作成など)
- 4 その他(乳幼児の一時預かり、疾病を有する人たちへの在宅支援事業、など)

時間：午前7時30分～午後6時(場合によっては午後8時まで可)

休日：年中無休

スタッフ：職員28名、有償ボランティア6名、無償ボランティア40名

利用料金：(制度を使わない場合です。)

	1日	半日(4時間)
1	2,500円	1,500円
2	3,750円	2,000円

(注)

- ☑ 介護保険や自立支援法などの制度を利用される場合は、その制度の料金体系が適用されます。
- ☑ 1、2の区分は介護の度合いによります。
- ☑ 午後6時以降は1時間につき700円いただきます。
- ☑ ケースによりおむつ代・日用品代・食事代の実費をいただくことがあります。



## このゆびと一まれ茶屋の紹介

住所：〒930-0115 富山市茶屋町441-3  
(JR富山駅より車で10分)周辺地図

### デイサービス・ショートステイ このゆびと一まれ茶屋

いつでも「通って」「泊って」をモットーにしている富山型デイサービス・ショートステイです

TEL：(076) 427-0720  
FAX：(076) 427-0723



### グループホーム

### このゆびと一まれ茶屋

お年よりと職員が「ゆったり」「いっしょに」「楽しく」をモットーに共同生活を送ります。

TEL：(076) 427-0722  
FAX：(076) 427-0723



富山型とは？

赤ちゃんからお年よりまで、障害があっても無くても誰もが利用できます。

定員

デイサービス(通所介護)：15名  
ショートステイ(短期入所)：3名

利用時間

AM8:00～PM5:30まで

利用料金

お年よりは介護保険を利用できます  
障害者(児)は、デイケア事業または自立支援法を利用できます。健常児は一日2500円、半日(4時間まで)1500円です。

グループホームとは？

痴呆のある高齢者が共同生活をするとこです。

定員

9名です。

料金

入居金は0円です。

詳細は次の表を参照。

### 一ヶ月利用料金一覧表

家賃	50,000円
食費	30,000円
水道光熱費	10,000円

共益費	10,000円
介護保険適用基本料金	介護報酬の10%
合計	120,000~130,000円

※冬季は暖房費5000円が加算されます  
 ※退去時クリーニング代などの実費をいただきます



## このゆびと一まれのはじまり



「このゆびと一まれ」は富山赤十字病院を退職した3人の看護婦により、平成5年に開所しました。その中の一人、惣万は「病院で看護婦として働いていることの限界を感じた。」と当時を振り返っています。病院でいくらお年寄りの命を助けても、最後の場面で「家に帰りたい」「畳の上で死にたい」とお年寄りが泣いている場面をたくさん見て、そういったお年寄りたちを助けるために「このゆびと一まれ」を設立することにしました。

また、惣万は以前訪れた老人ホームで、まるで生きる気力を無くしているかのようにお年寄りたちが全く話もせず一日を過ごしている姿を見て、どこか違和感を感じました。惣万は「子供といっしょに笑ったり、怒ったり、歌をうたったりすることはどんなりハピリよりもよい。子供がいればハピリなんてする必要がない。」と言っています。



「このゆびと一まれ」のように、「赤ちゃんからお年寄りまで、障害があってもなくても一緒にケアする活動方式と、行政の柔軟な補助金の出し方を併せて「富山型」と呼びます。この、本当の意味でのノーマライゼーションである「富山型」は福祉関係者の共感を呼び、富山はもちろん、滋賀、長野、愛知、徳島、熊本、佐賀へと全国へ広まりつつあります。

## このゆびメイン

平成5年7月2日

民営デイケアハウス「このゆびと一まれ」開所(富山県内では初めての民間デイサービスの開所となる)

平成5年10月

「'93とやまTOYP大賞」を受賞(魅力ある富山(まち)づくり部門)

平成6年

第1回NHKふるさと富山大賞を受賞

平成8年7月

「在宅障害者(児)デイケア事業」の委託を受ける

(障害児をもつ親たちが「このゆびと一まれ」が指定業者になるようにと署名運動をし、1週間で100人の署名を集める)

平成9年4月

富山民間デイサービス育成事業から補助金の交付を受ける(対称はお年よりだけで、5人程度の利用者なら年間180万円の補助金)

平成10年4月

富山市民間デイサービス育成事業の対象が緩和され、補助金の交付を受ける(お年よりと障害者(児)を合わせて10人程度の利用者であり、360万円の補助金)

※「このゆびと一まれ」の活動に合わせ、県(市)がお年よりと障害者(児)の壁を取り払った柔軟な補助金の出し方が、後に「富山方式」といわれる

平成10年7月

文集「おかげさまで満5歳になりました」を出版

平成10年10月

「富山県民間デイサービス連絡協議会」が発足(会長/惣万佳代子)

平成11年5月

「特定非営利活動法人このゆびと一まれ」の認証を受ける(富山県第1号のNPO法人となる)

平成11年10月

グロッカルゴールデン基金を受賞

平成12年4月

介護保険の指定業者に指定される(通所介護・居宅介護支援事業者)

平成12年7月

生きがい対応型デイサービス事業を富山市から委託される(「このゆびと一まれ」の隣の家で開始)

平成13年10月

「タウンミーティングinとやま」で「共生型」を提案する

平成13年12月

中日社会功労賞を受賞

平成14年7月

内閣府国民生活局「未来生活懇談会」のプレゼンターとして「共生型」を提案する

平成14年11月

「笑顔の大家族 このゆびと一まれ～「富山型」デイサービスの日々」(惣万佳代子著・水書坊発行)を出版

## このゆびメイン

平成14年12月

「日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2003」で総合2位を受賞

平成15年9月

「第1回地域共生ホーム全国セミナーinとやま～富山型デイサービスの10年とこれから～」を開催

平成15年9月

10周年記念写真集「ともに」を出版

平成15年10月

ボランティア活動推進富山県民会議会長賞受賞

平成16年5月

富山市茶屋町にデイサービスとショートステイとグループホームの3つの機能を持つ「このゆびと一まれ茶屋」をオープン

平成16年10月

毎日新聞「毎日介護賞」を受賞

平成17年4月

富山市富岡町にデイサービス「このゆびと一まれ向い」をオープン

平成17年9月

「内閣府総理大臣賞」を受賞

平成19年8月

宅老所・グループホーム全国ネットワーク代表・世話人(惣万)

## ボランティア募集

「このゆびと一まれ」では子供さんやお年寄りとの対話、畑仕事、花たての世話、清掃、食事介助などをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。

平成14年10月現在、ボランティアの登録者数は100名、その中には小学生から主婦まで幅広い層の方がいらっしゃいます。ボランティアに興味がある方だけに限らず、子供が好きな方、将来福祉の道に進みたいと考えている学生さんなども、ぜひ1度「このゆびと一まれ」を訪れてみて下さい。きっと、普段の生活では味わえない、楽しい時間を過ごせますよ。

お知らせ

「内閣府と富山県が主催する「平成17年度心の輪を広げる体験作文」に、このゆびで育った子ども2人が入選しました。子供の素直な視点からこのゆびのことを作文にしているので、ぜひご覧になってください。

・最優秀賞「このゆびと一まれで」で育った私 小学5年生岩本万由子

・優秀賞「かわいいね、よっちゃん」小学2年生野崎由梨

また岩本さんは「平成18年度学童・生徒のボランティア活動体験作文」でも最優秀賞の富山県知事賞を受賞しました。

・最優秀賞「このゆびと一まれ」でのボランティア 小学6年生岩本万由子

ボランティアを希望される方は、直接「このゆびと一まれ」にご連絡下さるか、メールにてお問い合わせをお願いします。

 **誰でも いつでも このゆび と一まれ!** 